

## 国民健康保険事業費納付金の仮算定結果について

国から示された仮係数等を用いて、平成30年度の国民健康保険事業費納付金（以下、納付金という。）について仮算定を行った。

### 1 仮算定の前提条件

- 平成30年度に予定されている国からの公費拡充額約1,700億円のうち、現時点で配分見込額が示された約1,500億円分を反映（一部公費が未反映）
- 国の普通調整交付金・前期高齢者交付金等は、従来の市町ごとの所得水準や前期高齢者の割合等に応じた交付から、県の所得水準や前期高齢者の割合等に応じた交付に変更
- 制度改革による負担増が一定割合を超える市町に対しては、国の公費等による「激変緩和措置」を実施

### 2 仮算定結果（概要）

- 高齢化の影響等により、1人当たり医療給付費等は増加するものと見込む（対前年度+2.61%【過去の伸び率を参考】）が、公費の拡充（本県への配分額約12.6億円）等により、県全体としての1人当たり納付金額は、微減（△0.8%）と見込まれる。

【県平均1人当たり納付金】

①H29 推計値 (円)	②H30 算定額 (円)	増減額 (②-①) (円)	増減率 (%)
129,322	128,230	△1,092	△0.8

- 市町毎の状況は別紙のとおり

国保加入者の医療費水準や所得水準が高い市町は負担が増加する方向に働く。

- ※今回の算定結果は、現時点で国から示されている公費の配分方法等を基に実施したものであり、12月下旬に国から示されるデータを基に行う本算定（確定値）時には数値の変動が見込まれる。

# H30 納付金 仮算定結果(暫定値)

資料 3

区分	一人当たり納付金額 (~H29医療給付費等)				《参考》 医療費の自然増 (+2.61%)がなかった 場合の増減(推計)	
	H29 推計値 ① (円)	H30 算定額 ② (円)	増減額 ②-① (円)	増減率 ②/① (%)	増減額 (円)	増減率 (%)
金 沢 市	135,327	135,567	240	0.2 ※	△ 3,772	△ 2.9
小 松 市	129,278	128,595	△ 683	△ 0.5	△ 1,920	△ 1.5
七 尾 市	122,328	115,949	△ 6,379	△ 5.2	△ 8,338	△ 6.9
加 賀 市	130,632	125,458	△ 5,174	△ 4.0	△ 7,782	△ 6.1
輪 島 市	116,697	113,181	△ 3,516	△ 3.0 ※	△ 6,383	△ 5.6
珠 洲 市	109,218	109,992	774	0.7	△ 3,751	△ 3.6
羽 咋 市	121,179	122,390	1,211	1.0	△ 3,292	△ 2.8
白 山 市	128,724	128,454	△ 270	△ 0.2	△ 3,768	△ 3.0
能 美 市	125,317	124,466	△ 851	△ 0.7	△ 3,435	△ 2.8
川 北 町	101,428	102,456	1,028	1.0 ※	△ 676	△ 0.7
野 々 市 市	137,737	133,556	△ 4,181	△ 3.0 ※	△ 5,387	△ 3.9
津 幡 町	127,985	129,353	1,368	1.1	△ 2,861	△ 2.3
か ほ く 市	118,368	119,558	1,190	1.0 ※	△ 771	△ 0.7
内 灘 町	132,788	125,560	△ 7,228	△ 5.4 ※	△ 8,589	△ 6.5
志 賀 町	119,104	118,576	△ 528	△ 0.4	△ 4,476	△ 3.9
宝 達 志 水 町	102,190	103,130	940	0.9	△ 773	△ 0.8
中 能 登 町	112,492	111,613	△ 879	△ 0.8	△ 4,280	△ 3.9
能 登 町	129,192	127,338	△ 1,854	△ 1.4 ※	△ 5,425	△ 4.3
穴 水 町	118,207	119,492	1,285	1.1	△ 3,582	△ 3.2
県 平 均	<u>129,322</u>	<u>128,230</u>	<u>△ 1,092</u>	<u>△ 0.8</u>	<u>△ 4,260</u>	<u>△ 3.4</u>

◇ H30算定額は、激変緩和措置を講じたもの

※ H28に法定外繰入等を行っている市町